

ようこそ国見町へ 地域おこし協力隊着任

国見町地域おこし協力隊として5月1日から佐藤温さんが着任しました。佐藤さんは町で4人目の地域おこし協力隊です。応募したきっかけや活動内容などについてインタビューをしました。

以前から、新しい形の教育に携わりたいと考えていました。それは、知識の暗記だけではなく、人それぞれの興味や能力を活かし、他者と協力して問題を解決する力を養う教育です。そんな時に就職活動の中で、国見町が行っている「国見ホイスコーレ※」事業に出会いました。役場や先輩の協力隊員の方と面談を重ね、「これだ！」という実感が芽生えたのが応募したきっかけです。

町の地域おこし協力隊に応募したきっかけは



さとう のどか
佐藤 温さん
地域おこし協力隊

神奈川県出身。22歳。大学を休学して国見町の地域おこし協力隊へ応募。大学では地域文化などについて学び、町づくりについて関心を持つようになる。趣味は野球や筋トレなどの体を動かすこと。

今後の活動について
教えてください

現在、取り組んでいる短期ホイスコーレ（6月はオンライン開催予定の観光ツアー）を通じて、町に熱意を持って関わる人を増やすこと。また、町の若者世代と連携して新しい形の教育を実践し、魅力的な町づくりに貢献したいです。

町のみなさんへ
ひとことお願いします

新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、みなさんのところへ飛び込んでいき、交流をしていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

※国見ホイスコーレとは、中学生・社会人までの幅広い年齢の人たちが生涯にわたって楽しく豊かに生きていけるような出会いと学びを得られる「人生の学校」です。現在、町では年齢に合わせて①「国見プロジェクト学習」「エリアデザインラボ」②「短期ホイスコーレ」の取り組みを行っています。



国見町地域おこし協力隊
たのうえ さえみ
田上 沙慧美さん

去年1年の振り返りと
今年の活動の抱負

こんにちは。地域おこし協力隊の田上沙慧美です。昨年5月に国見町に着任し、早くも1年が過ぎました。この1年は、町の人との繋がりを育みながら、役場や町の方と「国見ホイスコーレ」という事業を作ってきた1年でした。昨年、国見ホイスコーレでは、「ローカルで出会う、気づく、見つめる3日間」というテーマで学びのツアーを開催し、県外（主に首都圏）の大学生・社会人12名が国見町を訪れました。彼らは、町で過ごす3日間のなかで、国見の人の生き方や働き方に触れ、国見で新しい価値観を取り入れ、学びを得て、各々の住む場所へ帰っていきました。そして参加者全員が、何らかの形で今後も国見と繋がっていきたくてくれたのは、プログラムに協力してくれたみなさんの人柄や熱意に心が動いた結果なので、いつもご協力くださっている方々には本当に感謝し尽くせません。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動に制約が掛かっている一方で、新たな可能性を模索し、オンラインでのホイスコーレ作りを始められています。これからも国見の中で繋がりを広げながら、出会いや学びにあふれる魅力ある国見ホイスコーレを進めていくので、引き続きご協力をよろしくをお願いします！

春の叙勲

令和2年春の叙勲受章者が発表され、町内から古川廣次さん（大町南）と鈴木恵子さん（築館）の2名が栄誉に輝きました。

古川廣次さんは、昭和42年に福島県警察に採用されると初任地の小名浜署をはじめ福島署や会津若松署、富岡署などで、地域・機動警ら部門を中心に勤務し、福島署南部交番主任で退職するまでの42年間の長きにわたり、住民の安全・安心のために尽力されました。

今回の受章について古川さんは「連絡がきたときには驚きましたが、とてもうれしかったです。受章は家族の支えがあったおかげで職務をまっとうすることができたからです」と話され、「赴任先では地域の方にお世話になりましたが、今でも赴任先で知り合った方と家族ぐるみの交流があります。『自分に正直であれば間違いない』をモットーに地域住民に寄り添いながら安全安心を守ることを心がけていました」と警察官人生を振り返りました。



瑞宝単光章 ふるかわ ひろじ
古川 廣次さん



瑞宝単光章 すずき けいこ
鈴木 恵子さん

鈴木恵子さんは、昭和51年に養護老人ホーム「桑折緑風園」に入職され、平成25年からは介護科長として現在まで高齢者の生活を献身的に支えられています。

鈴木さんは「周りの支えがあつての受章です。長い間働くことができるのは職場の上司や同僚のサポート、家族の支えがあったからです。周りに感謝しながら家族と受章を喜びたいです」と今回の受章について話され、「入所の方が生活しやすい環境づくりを心がけていますが、利用者から『ここに入所してよかった』や面会に来た家族から『施設の雰囲気がいいから通いやすい』と言葉をかけてもらった時にはうれしかったのを覚えています。これからは自分自身の経験を伝えて後進の育成をしながら、できる限りは続けていきたいです」と今後の抱負なども述べられました。

商工業の振興に尽力

各種功労者知事表彰受賞—岡崎 長市さん—

今年度の各種功労者知事表彰（商工功労）を岡崎長市さん（大町南）が受賞しました。岡崎さんは平成10年以来、20年余りにわたり、町商工会長や県商工会連合会理事などとして商工業者の指導育成と関係団体の発展に尽力し、商工業の振興に寄与されました。

岡崎さんは受賞について「みなさんに支えていただきながら商工会員に寄り添った事業活動を行ってきた結果だと思えます。これからも地域振興のために活動していきます」と語ってくれました。



各種功労者知事表彰を受賞した岡崎さん